

平成25年度「重点研究費」研究成果報告書

研究課題	体育科授業研究会における「研究協議会」のあり方に関する研究 －協議会の内容分析と研究組織のファシリテイト力に視点を当てて－
------	--

研究代表者

氏名 鈴木 聡	所属 芸術・スポーツ科学系 健康・スポーツ科学講座	職名 准教授
------------	------------------------------	-----------

研究分担者

氏名	所属	職名

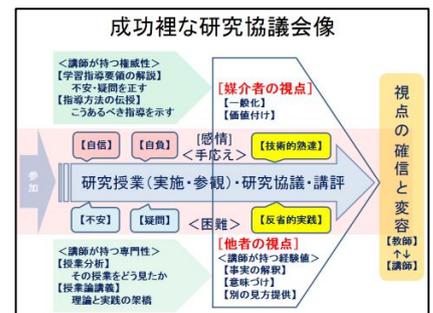
【研究成果の概要】 (文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度)

1. 問題の所在と研究目的、方法

教員研修システムの中で、「授業研究」は、我が国の小学校における教師文化としてその成果が認められてきている。しかし小学校現場では、近年の課題として研究内容の成果や運営方法が形骸化していることが指摘され、特に研究授業後に開かれる「研究協議会」は「発言者の固定化」や「内容が深まらない点」、そして「何を議論してよいかわからない教員の存在」等が問題としてあげられている。また、採用人数が少なかったとされる中堅期の教員層が少なく、まだ経験がそれほど多くない中堅教師が研究を推進する立場になる現状もある。そうであるとする、研究協議会をファシリテイトする研究推進の立場にいる教員の力量向上と研究協議会の充実に向けた努力は、教員全体の資質向上のためにも急務の課題と言えるだろう。そこで本研究では、体育科授業研究会における「研究協議会」の運営及びそこで議論される内容について参与観察やインタビュー分析から明らかにし、現職教育に効果的な体育科授業研究における協議会の在り方を示すことを目的とした。方法としては、小学校の授業研究会に参加し、研究推進役の教師へのインタビュー及び研究協議会で議論される教師の発言分析を行った。

2. 調査結果と本研究の成果

本研究では、体育科を対象に研究する授業研究会組織に視点を広げ、「研究協議会の内容分析と成功裏な研究協議会のあり方」について基礎的な知見を得ることができた。まずは、昨年度の研究で明らかにした研究推進役のファシリテイト能力の中で、「研究協議会活性化のための工夫」に焦点化して分析を行った。その結果、研究推進役は、研究協議会を活性化させるために「小グループでの話し合い」「短冊カードによる意見収集と整理」「若手教師が語りやすい雰囲気作り」「ワールドカフェ等の討論形式の導入」などの工夫をしていることが明らかになった。また、協議会で語られる発言内容を分析したところ、大きくは「共感－疑問（質問）」「指導案や教材－授業や児童の姿」を軸とした2軸4象限にカテゴライズできることが明らかになった。勿論、授業形態や内容、時期や校内研究会の構成教員の状況によって議論される中身に違いがあることは確かであるが、いずれの研究協議会においてもこのカテゴリーに分類可能な発言や意見、質問が確認された。特に若手の教員（1年目～4年目程度）は、指導案等の提案への質問や教師行動への関心を語るが多かった。また、ベテラン期の教師（16年目以上程度）は、授業内容や児童の姿に対する見取りの語りが多く表出された。「共感」と「疑問」の軸で比較すると、例えば年度当初の研究協議会では「共感的な発言」や単なる「質問」が多いが、年度末に近づくと、「代案」が出されたり「多角的な視点の提示」がされたりと、変容が見られた。インタビューによると、若手の教師は協議会における先輩教師の発言に大きな影響を受け、モデルにしているという語り多くの教師から表出された。少なからず、中堅、ベテラン教師も同様に語っていることを鑑みると、研究協議における「他者」である教師の存在が、授業を見たり考えたりする視点を確信させたり変容させたりするようであった。そのプロセスを、右図にモデル化して示した。



3. 本研究の残された課題

今回の研究では、個々の学校における校内研究会の実態把握や教師の意識を捉えることを目的としており、研究成果の内容やその発信、プロセスや成果物の情報交換やネットワーク作りという課題には触れていない。校内研究会をつなぎ、開かれた学校研究、授業研究を実現するネットワークシステムを構築し実現させていくことを今後の課題とする。

研究成果発表方法

[発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入する。]

※本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

「体育科授業研究会における「研究協議会」のあり方に関する研究－協議会の内容分析と研究組織のファシリテイト力に視点を当てて－」鈴木聡 2014.8 日本体育学会第65回大会口頭発表（予定）